

第5学年1組 外国語活動学習指導案

日時 平成29年11月14日(火)

場所 巖木小学校 音楽室

児童数 21名

指導者 外国語活動担当 教諭 加山 桃子

ALT Yum Sacha Yue

1 単元名 I study Japanese. ~夢をかなえるために~

2 単元について

本単元は、新教材 We can1 Unit3「What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業」を参考に、Hi, friends!1 Lesson8「I study Japanese. 夢の時間割を作ろう」と Hi, friends!2 Lesson8「What do you want to be? 夢宣言をしよう」の内容を基に構成したものである。この単元では、児童の身近な題材である教科を取り上げて活動を行う。外国の学校生活を紹介することで、自分たちの学校生活との共通点や相違点に気付かせ、世界には様々な学校生活があることに目を向けさせることができると考える。お互いの夢の職業とそのために頑張りたい教科を紹介し合うことで、それぞれの教科の大切さについて考えることもできる。キャリア教育の視点からも、一人一人の自立に向け、その基盤となる能力や態度を育てることを目指して、教科の大切さや職業に必要な力を考えることは、「学び続けたい」「働き続けたい」という児童の姿につながっていく。夢の職業というテーマで児童同士が関わり合う活動を通して、児童がお互いの思いを受け止め合ったり、励まし合ったりすることができる単元である。

本学級の児童は、これまで、HRTやALT、友達との関わりの中で、「数」や「好きなもの」をテーマとした活動を行い、数を尋ねる英語表現や好きなものを尋ねたり答えたりする英語表現に親しんできている。第1学年から英語活動に取り組んでいることもあり、今年度から始まった35時間の外国語活動でも、HRTやALTが英語で話をするということについて、なんとか分かろうと一生懸命見聞きしながら活動に取り組む姿が見られる。これまでは気分や好みを聞くなど身の回りの身近な内容が主であったため、今回は外国の学校生活を取り上げることで、視野を広げていきたい。夢と頑張りたい教科について調査をすると、1つの夢を選んでいる児童といくつかの職業に憧れている児童など実態はそれぞれであるが、全員が夢を持っていて、その夢のために頑張りたい教科を考えて書くことができていた。夢と教科をテーマに、児童が伝えたいことを英語を使って表現し合う場をつくっていきたい。また、90%の児童が簡単な英語やジェスチャーで言いたいことを工夫して伝えたいと答えているが、初めてまとまった内容を紹介し合う場を設けるため、児童が負担を感じることなく紹介し合うことができるよう配慮する必要がある。

指導にあたっては、単元構成を考えると、ゴールの言語活動を決定し、バックワードデザインで単元内容を組み立てた。ゴールの言語活動では、児童の発達段階や興味を持つことができる内容をと考え、20歳の同窓会という場面設定で、夢の職業やそのために頑張っていることを伝え合う活動を仕組んでいく。

単元の導入では、教科に関係のある場所や道具の写真を提示し、クイズをしながら、教科の英語表現に出合わせていく。これまでの数や食べ物などの言葉と比べると、教科の英語表現に難しさを感じる児童も少なくないと考えられるので、ゲームを取り入れながら、繰り返し聞いたり言ったり

する活動を積み重ねていく。その中で、外国の学校生活を紹介し、自分たちの学校との共通点や相違点に気付かせていくが、1つの例であることに触れ、偏った見方にならないよう配慮する。日本で英語を学習するように、日本語を外国語として学習している国があることにも気付かせる。職業の英語表現については、教師の子どもの頃の夢をクイズ形式で紹介し、身近な人に関心を持たせながら出合わせていく。

ゴールの言語活動に向けては、一人一人に夢を叶えるための時間割を考えさせていく。コンピュータや看護など、専門的な教科についても紹介し、児童の思いを大事にしながらか進めていく。児童の負担を考え、将来の夢を未来形ではなく“ What do you study? ” “ Are you a doctor? ” という現在形で言語活動を行うため、タイムマシンで 20 歳の同窓会へという場面設定で活動する。やり取りを行う時には、場面や伝え合う内容がわかるような掲示物を準備したり、作成した夢の時間割カードを見せながら交流させたり、視覚的な支援をすることで、安心して伝え合うことができるように配慮する。最後に、全体で友達の夢や頑張ることを交流しながら、同窓会写真を作成することで、お互いの夢を受け止め、励まし合う態度を大切にしていきたい。道徳とも関連させ、「Dreams come true」カードを作成し合い、将来に向けて応援メッセージを伝え合う活動へとつなげていく。

3 単元の指導目標

積極的に友達と関わりながら活動に取り組み、相手に伝わるように教科や夢を尋ね合ったり、互いに励まし合ったりしようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

教科や職業についての表現や尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】

世界の小学校の学校生活の共通点や相違点について気付く。

夢や頑張ることを交流することで、友達の新たな一面や良さに気付く。【言語や文化に関する気付き】

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
<ul style="list-style-type: none"> 積極的に友達と関わりながら活動に取り組み、相手に伝わるように、工夫して教科や夢を尋ね合ったり、互いに共感的な言葉を掛け合ったりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科や職業についての表現や尋ねたり答えたりする表現を聞いたり、言ったりして活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の小学校の学校生活の共通点や相違点について気付いている。 友達の夢や頑張ることを聞き、友達の新たな一面や良さに気付いている。

5 単元指導計画（全5時間 主な英語表現〔 〕）

時	活動名・目標・指導形態	主な活動	評価			
			コ	慣	気	
1	教科を知ろう (JTE+ALT) ・教科の英語表現を知る。 What's this? 教科 (Japanese/English/math/social studies/P.E./home economics/science/calligraphy/music/arts and crafts)	<ul style="list-style-type: none"> 「3ヒントクイズ」をして、教科の英語表現に出合う。 「キーワードゲーム」をして教科の英語表現に慣れ親しむ。 先生の子どもの頃の夢と夢を叶える1日の時間割を聞き、活動の見通しを持つ。 				<ul style="list-style-type: none"> 教科の英語表現を聞いたり、言ったりして活動している。【慣】 行動観察・振り返りカード点検

2	<p>世界の小学校を知ろう (JTE+ALT)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科の英語表現に慣れ親しむ。 世界の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点に気付く。 <p>What subject do you like? I like (English).</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ミッシングゲーム」をして教科の英語表現に慣れ親しむ。 インタビューし合い、『5年1組好きな教科ランキング』をつくる。 外国の小学生の好きな教科ランキングや学校生活についての映像を見て、気付きを交流する。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科の英語表現を聞いたり、言ったりして活動している。【慣】 世界の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点に気付いている。【気】 <p>行動観察・発言・振り返りカード点検</p>
3	<p>夢をかなえるためには？ (JTE+ALT)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業の英語表現を知る。 <p>What do you study? I study (Japanese). 職業(baseball player/ police officer/farmer/ teacher/doctor/chef/ nurse/scientist/artist/ florist/carpenter/pilot)</p>	<ul style="list-style-type: none"> Who am I? 先生クイズをして、職業の英語表現に出会う。 「ポインティングゲーム」をして、職業と教科の英語表現に慣れ親しむ。 夢を叶えた人についてのまとまりのある話を聞いて、どんなことを頑張っているのかを考える。 夢の職業とそのための1日を考え、時間割カードを作る。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科や職業の英語表現を聞いたり、言ったりして活動している。【慣】 <p>行動観察・振り返りカード点検</p>
4	<p>夢と頑張ることを伝える準備をしよう (JTE+ALT)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 積極的に教科や夢を伝えようとする。 <p>C1: What do you study? C2: I study (Japanese). C1: Are you a (teacher)? C2: Yes, I am. / No, I'm a (nurse).</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「すごろくゲーム」をして、教科を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。 同窓会についての話を聞く。 作成した時間割カードから、同窓会で紹介する内容を考える。ペアでどのように伝えるか相談し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科を尋ねたり答えたりしている。【慣】 友達に教科や夢をどのように伝えるかを積極的に考えている。【コ】 <p>行動観察・発表用シート・振り返りカード点検</p>
5 本時	<p>2027年 厳木小同窓会をしよう (JTE+ALT)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わるように教科や夢を伝え合おうとしたり、夢に関する友達の思いを受け止めようとしたりする。 夢や頑張ることを交流することで、友達の新たな一面や良さに気付く。 <p>C1: Hi! Momoko? What do you study? C2: I study (English, math, P.E.) C1: Are you a (teacher)? C2: Yes, I am. C1: Why? C2: I like children. C1: Nice! / Wonderful! / Really? / Good luck!</p>	<ul style="list-style-type: none"> Are you a ? クイズをして、教科や職業を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。 同窓会タイムをして、時間割カードを見せながら夢の職業とそのために頑張ることを紹介し合う。 同窓会で出会った友達を発表し合い、同窓会写真を完成させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 相手に配慮しながら教科や夢を伝え合ったり、夢に関する友達の思いを受け止め、共感的な言葉を掛けようとしたりしている。【コ】 友達の夢や頑張ることを聞き、友達の新たな一面や良さに気付いている。【気】 <p>行動観察・発言・振り返りカード点検</p>

6 本時の目標

相手に伝わるように教科や夢を伝え合おうとしたり，夢に関する友達の思いを受け止めようとしたりする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
 夢や頑張ることを交流することで，友達の新たな一面や良さに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

7 展開（全5時間 本時5/5 主な英語表現 [] 評価 [] ）

児童の活動	教師の働き掛けと評価		準備
	JTE	ALT	
1 前時の活動を振り返る。	前時の振り返りカードの感想から思いを伝えようと工夫していた姿を紹介し，本時の活動で大切にすることを意識させる。	児童と英語で挨拶を交わして，雰囲気作りをする。	振り返りカード
巖木小同窓会で，夢や頑張っていることを紹介し合おう！ 話 相手の反応を見ながら，英語を使って工夫して話そう。 聞 反応しながら聞いたり，応援の言葉を伝えたりしよう。			
2 Are you a ? クイズをする。 Hello! What do you study? - I study (Japanese, English, science). Are you a (doctor)? - Yes, I am.	同窓会で，夢とそのため頑張っていることを紹介するという単元のゴールを確認し，本時の目標に沿った児童のめあてを児童の言葉で表現し，確認させる。 クイズを通して，教科や夢を尋ねる立場と答える立場の両方を体験させ，次の活動で使う英語表現に触れさせる。 興味を持って聞くことができるよう，児童に身近な人やドラマの登場人物から紹介する。	JTE と役割分担してクイズを進め，次の活動のやりとりを聞かせる。 児童が分からない教科や職業の英語表現を言っけて聞かせたり，まねさせたりして，次の活動の支援をする。	PP(クイズ) 絵カード (教科)
3 「2027年巖木小同窓会」をする。	絵や写真を提示し，タイムマシンで2027年20歳の同窓会へ行くという場面を作って，意欲を高める。 作成した夢の時間割カードをもって伝え合うことを示す。	JTE とデモンストレーションをして，活動の仕方を示す。 黒板に提示した同窓会写真を使って，職業の名前の英語表現を丁寧に聞かせるようにする。	PP(場面絵) 絵カード (教科) 同窓会写真 (職業の絵) 時間割カード

友達と出会って挨拶を交わす。(ペアになる)

頑張っていることを尋ねる。

C1: What do you study?
C2: I study (Japanese, English, science).

ヒントからどんな職業に就いたのかを予想して伝える。

C1: Are you a (teacher)?
C2: Yes, I am. /
No, I'm a doctor.

なぜその教科を頑張っているのかや、なぜその職業に就いたのかを聞いたり、応援の言葉を伝えたりする。

理由を聞きたいときの言葉や“Nice!” “Good luck!” “Me too!” などの共感的な言葉について児童に考えさせ、温かい関わりを促す。

最後に出会った友達の夢や頑張っていることを紹介し合うことを確認する。早く見つけるのではなく、思いをしっかりと聞いたり伝えたりしようとするのが大切であることを伝える。

児童が友達に言いたい理由を尋ねる言葉や応援の言葉を英語でどのように伝えたらよいかを示す。

教科や夢を尋ねたり答えたりすることにとまどっている児童を支援したり、工夫して伝えようとしている児童の姿を褒めたりする。

相手に配慮しながら教科や夢を伝え合ったり、夢に関する友達の思いを受け止め、共感的な言葉を掛けようとしたりしている。【コ】行動観察・発言・振り返りカード点検

相手と向き合い、聞こうとしている態度を評価して安心感を持たせ、一緒に相づちを打ちながら相手の話を聞いたり、ジェスチャーで示しながら一緒に話したりする。

4 友達の夢と頑張ることを交流し、本時の活動を振り返る。

感じたことや考えたことを振り返らせ、温かく関わり合えたことや、友達への新たな気づきなど、めあてに迫る振り返りができている児童の言葉を取り上げ、全体で共有する。

全体で夢を交流し、夢は人それぞれ違うけれど、夢に向かって頑張ろうという思いは一緒だということを実感させ、同じような同窓会写真を撮ることができるように夢に向かって頑張ろうという思いを共有し合う。

児童が一生懸命夢や頑張ることについて伝えようとしていた姿を称賛し、夢を叶えるために頑張っほしいというメッセージを伝える。

同窓会写真
振り返りカード